

令和6年度 事業報告書

公益財団法人 富山市ファミリーパーク公社

令和6年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

I 概 要

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実に努めた。

また、開園40周年を迎え、それを記念して様々な記念事業を実施した。

ライチョウ保護増殖事業は昨年に引き続き、飼育繁殖技術の確立や人材育成を推進し、国内では初になる野生（生息域外）雄から採精した精液を使用した当園（生息域内）の雌への人工授精を試み、人工孵卵・人工繁殖に成功した。

ヨウム繁殖プロジェクト事業では、繁殖技術の確立に向けた取り組みを推進するとともに、当園の職員を先進地へ派遣し研修を行った。また、中部大学の依頼により、JICA 草の根技術協力事業の一環として、ヨウムの保全に取り組んでいるウガンダ野生生物保全教育センター（UWEC）の職員の研修を受け入れた。

富山ユネスコ協会主催の体験型ワークショップや JICA の里山に関する研修会を当園で開催した。

コロナ禍から休止していた動物とのふれあいコーナーについて、アニマルウェルフェアを考慮したうえで再開した。

さらに、「富山市SDGs 未来都市計画」に関する取組のうち、「呉羽丘陵月いちウオーク実行委員会」に参画するなど、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら、ファミリーパークを呉羽丘陵における拠点としての多様な活用を推進する事業を進めてきた。

II 事業報告

1 富山市ファミリーパーク開園40周年記念事業

令和6年4月28日に開園40周年を迎え、記念式典と記念事業「わたしの出会ったライチョウ」フォトコンテストの表彰式、さらには、審査員の野鳥写真家戸塚学氏による講演会を行った。入賞作品は年間を通して園内外の様々な場所で展示した。

また、園内にファミリーパークのこれまでの歴史に関する写真・解説パネルを設置する企画展を実施した。

2月にはシンポジウム開催に先立ち、ワークショップ「ファミリーパークの未来を考えよう」を行い、市民や関係団体の方々と共にファミリーパークを活用するアイデアを話し合った。

2月23日には、シンポジウム「未来を元気に！～動物・里山・地域で育む『生きる力』～」と題し、サントリーの環境保全活動の取り組みについての基調講演とパークの取り組み紹介、これからのファミリーパークについて話し合うパネルディスカッションを行った。

その他、開園 40 周年を記念したオリジナル商品を立案し販売した。

事業名		実施日数	参加者数
開園 40 周年記念式典		1 日	80 名
「わたしの出会ったライチョウ」フォトコンテスト表彰式		1 日	80 名
講演会「ライチョウ撮影秘話」		1 日	120 名
「わたしの出会ったライチョウ」フォトコンテスト入賞作品展示	ファミリーパーク	155 日	
	ホテル立山	23 日	
	富山市役所	25 日	
「わたしの出会ったライチョウ」フォトコンテスト応募作品展示		62 日	
シンポジウム関連ワークショップ 「ファミリーパークの未来を考えよう」		1 日	45 名
シンポジウム 「未来を元気に！～動物・里山・地域で育む『生きる力』～」 場所：富山県教育文化会館 第一部：基調講演「自然の恵みを次世代につなぐ環境保全活動 ～サントリーの取り組み～」 山田 健氏(サントリーホールディングス株式会社) 第二部：取り組み紹介「人を元気に、森を元気に、 いのちを元気に、地域を元気に」 第三部：パネルディスカッション 「未来を元気に 市民と共にすすむ道」 山田健氏、川端裕人氏(作家)、藤井市長、村井園長		1 日	220 名
開園 40 周年企画展示「数字で見るファミリーパークの 40 年」		279 日	
40th オリジナルフェアトレードコーヒー「ハッピーアニマルコーヒー」販売			
40th オリジナル「エビせんべい」販売			
40th オリジナル「キャラメルバッチ缶」販売			

2 ライチョウ基金事業

ライチョウの保全を目的として、平成 29 年に設立した基金を有効に活用し、JAZA が実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立」に必要な支援を行った。

また、基金事業継続のためにライチョウ飼育園館に募金箱などの設置を行った。

(1) ライチョウ基金運営委員会の開催について

5月にライチョウ基金運営委員会を開催し、次の事項を審議し承認された。

- ・令和5年度事業報告および収支決算報告
- ・令和6年度事業計画および収支予算

(2) JAZA が取り組む「ライチョウの飼育繁殖技術の確立」への支援

環境省の「ライチョウ保護増殖事業」において JAZA の取り組む生息域外保全で飼育繁殖技術の確立を目指した以下のことについて支援した。

- ・飼育繁殖技術の確立を目指した大学との共同調査研究
- ・野生復帰に資する飼育下集団をつくるための飼育繁殖技術の確立に向けた技術開発

(3) ライチョウ基金シンポジウム

令和6年度は、富山市ファミリーパーク開園40周年記念シンポジウムを開催したため、その中で令和6年度の成果等について報告した。

3 希少動物保全基金事業

希少種の保全に関する技術開発および人材育成を目的として設立した基金を有効に活用し、以下の希少動物の飼育、繁殖技術開発および人材育成に取り組み、持続的な生物多様性の保全を目的とした公益事業を推進した。

(1) ヨウム繁殖プロジェクト事業

令和5年度に引き続き、中部大学（応用生物学部：牛田教授）らが取り組む、JICA 草の根技術協力事業「ウガンダ共和国絶滅危惧種ヨウム保全の地域連携モデルケース構築支援」（2021～2025年）および研究者と連携し、絶滅危惧種であるヨウムの野生復帰を想定した飼育下繁殖技術の確立を目指した取り組みを推進した。

また、当園の職員を先進地であるシンガポールのバードパラダイスに派遣し、ヨウムをはじめとしたインコ類の飼育繁殖技術に関して学んだ。さらに、令和6年11月には中部大学の依頼により、JICA 草の根技術協力事業の一環として、ウガンダ野生生物保全教育センター（UWEC）の職員の研修を受け入れ、飼育繁殖技術や普及啓発に関する情報交換等を行った。

(2) ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業

令和5年度に引き続き、生息域内保全として園内の繁殖池の管理、新たな繁殖池の増設などを行い、生息域外保全として、園内の野生個体を捕獲し、飼育繁殖技術の確立を推進した。また、普及啓発活動として、園内の生息地を観察するガイドを開催した。

4 公益目的事業

(1) 施設管理事業

① 入園者の状況について

令和6年度は、開園40周年を迎え様々な記念事業を開催して集客を図った。令和7年3月末までの入園者は285,973人で、前年比48,638人の増加となっている。主な要因としてGW期間が天候に恵まれたことや夏季に開催したナイトズーが連日3,000人を超える入園者があったことなどによる。

一方で、長期にわたり猛暑が続いたことや、冬期は寒波が続き、2月には大雪による臨時休園となるなどの天候不順によって、今年度の目標入園者数300,000人には到達しなかった。

② 施設利用状況について

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

区 分		人 数	金 額	前年度実績	
				人 数	金 額
入 園 者	個 人 ・ 大 人	60,123人	30,061,500円	57,744人	28,872,000円
	70歳以上	418人	104,500円	397人	99,250円
	団 体 ・ 大 人	7,767人	3,106,800円	7,891人	3,156,400円
	共通パスポート	17,088人		17,119人	
	有 料 計	85,396人	33,272,800円	83,151人	32,127,650円
	無 料 計	108,206人		100,931人	
	※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者	16,769人 組数(5,434組)		17,171人 組数(5,551組)	
	計	193,602人		184,082人	
無 料 エ リ ア 計		92,371人		53,253人	
入 園 者 計		285,973人	33,272,800円	237,335人	32,127,650円
遊 具 使 用 者 計		102,925人	20,143,400円	103,227人	19,567,900円
合 計			53,416,200円		51,695,550円

(2) 動物管理事業

94種702点(令和7年3月31日現在)の動物飼育展示を行った。

これらの動物の展示やガイドを通して、生物の多様性や人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることに努めた。

また、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、日本在来家畜家禽の保存活用に努め、環境省のライチョウ保護増殖事業では、国内では初になる野生雄から採精した精液による人工授精を当園で飼育している雌で試

み成功した。さらに、熱帯鳥類館「バードピア」では、絶滅危惧種であるパラワンコクジャクとカンムリシロムクの繁殖に成功した。

その他、令和6年1月に発生した能登半島地震において、甚大な被害を受けた「のとじま臨海公園水族館」から緊急避難で預かっていたフンボルトペンギンについては、当園でふ化・成育した2羽を含めた12羽を9月に返還した。

飼育動物種数および点数（令和7年3月31日現在）

		種数点数
飼育動物の種数		94 種 702 点
内 訳	哺乳類	40 種 327 点
	鳥類	40 種 318 点
	爬虫類	7 種 21 点
	両生類	3 種 23 点
	魚類	4 種 13 点
	甲殻類	0 種 0 点
増加動物の種数		37 種 163 点
減少動物の種数		57 種 190 点
(公財) 日本動物園水族館協会 血統登録動物の種数		26 種 98 点

① 飼育展示事業【資料1－⑤、⑥参照】

コレクションプランに基づきメンフクロウ（オス1羽、メス1羽）、ニホンカモシカ（オス1頭）、アムールトラ（オス1頭）、スバルバルライチョウの種卵2個、シセンレッサーパンダ（メス1頭）などを他の動物園等から搬入するとともに、繁殖に取り組み、展示の維持に努めた。さらに、繁殖したパラワンコクジャクやリスザル、フンボルトペンギンなどで親子展示を行い、いのちの大切さを伝える展示に取り組んだ。

② 繁殖・研究事業【資料1－⑦、⑧参照】

ホンドザルやホンシュウモモンガなどの日本産動物の継続的な繁殖に努め、園内初となるパラワンコクジャクとクビワコガモの繁殖に成功した。

また、国指定特別天然記念物のニホンライチョウや、国際希少野生動物であるフンボルトペンギン、カンムリシロムクなどの繁殖を推進した。さらに、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、JAZAの動物園技術者研究会（カンムリシロムクにおける他種との同居展示での繁殖成功例）、中部ブロック飼育技術者研修会（ネズミ2種における同居時初期行動変化について）などで発表した。

繁殖を目的とした貸借契約動物

借 り 受 け 動 物	【哺乳類】 ユーラシアカワウソ (2)・ワオキツネザル (1)・グレビーシマウマ (1)・シセンレッサーパンダ (3)・ヒツジ (19)・コモンリスザル (2)・アミメキリン (2)・シンリンオオカミ (2)・チンチラ (1)・ミーアキャット (1)・ニホンカモシカ (3)・アムールヤマネコ (1)・ 【鳥類】 カンムリシロムク (3)・ルリコンゴウインコ (2)・ミゾゴイ (1)・フンボルトペンギン (5)・ソデグロバト (6)・ヒワコンゴウインコ (1)・アカコンゴウインコ (1)・シロビタイムジオウム (1)・ヨウム (2)・パラワンコクジャク (1)・オーストラリアガマグチヨタカ (1)・メンフクロウ (1) <u>24 種 64 点</u>
貸 し 出 し 動 物	【哺乳類】 グレビーシマウマ (2)・ミーアキャット (1)・アミメキリン (1) 【鳥類】 フンボルトペンギン (1)・オオタカ (2) <u>5 種 7 点</u>

繁殖した動物（令和 7 年 3 月 31 日現在）

動 物 名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
フンボルトペンギン	3	3	自然	4/8 (2)、4/9 (1)
パラワンコクジャク	1	1	自然	4/15 (1)
ホンドザル	3	3	自然	5/5 (1)、5/28 (1)、5/30 (1)
アカハシハジロ	9	5	自然	5/6 (9)
ツクシガモ	3	3	人工	6/21 (2)、6/22 (1)
クビワコガモ	1	1	人工	6/27
ニホンライチョウ	7	6	人工	6/28 (2)、7/19 (1)、7/20 (4)
スバルバルライチョウ	2	2	人工	7/31 (2)
コモンリスザル	1	1	自然	8/24 (1)
合計	30	25		

③ 教育普及事業【資料 1－⑨、⑩参照】

キリンやオオカミに餌を与えることができる「動物たちにゴハンをあげよう」を継続して実施した他、モルモットのふれあいや、コロナ禍から休止していたヤギのふれあいを再開した。また、季節に合わせて企画した催物や、アムールトラ（メス・ミー）が国内最高齢となったことで誕生会を開催し、幅広い層の利用者に生物多様性や人と動物の関係、いのちの大切さを伝えることに努めた。

また、「動物なるほど教室」や「じゅういのおしごと」、小中学校の総合的な学習や大学の課外実習などを受け入れた。

また、JAZA が主催する動物愛護に関する標語募集において、当園で応募のあった作品のうち一点が中央審査で金賞を受賞した。

さらに、新たな枠組みでの連携事業として、富山ユネスコ協会主催の体験型ワークショップや、JICA の里山に関する研修を実施し、グローバルな視点での動物の多様性や里山の重要性についての普及啓発に努めた。

事業名	実施数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう	104 回	2,764 名
オオカミにお肉をあげよう	108 回	2,815 名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー（動物とのふれあい）	334 回	20,884 名
動物なるほど教室	16 回	892 名
③ ごっくんタイム	334 回	9,017 名
④ 催し物事業		
a. 春イベント		
・第 2 回ファミパ動物選挙 3/15～4/7 期間中総投票数	24 日	5,691 票
応援演説会、合同演説会	20 回	712 名
b. 飼育の日		
・特別ガイド「動物園の台所探検ツアー」	2 回	43 名
・第 1 回ファミパ動物選挙結果発表、応援ありがとうガイド	2 回	65 名
c. 世界ペンギンの日ガイド		
・動物解説	1 回	20 名
d. ゴールデンウィーク		
・ヒツジの毛刈り	3 回	550 名
・クイズラリー「ファミリーパークの 40 年」	6 回	3,772 名
e. 愛鳥週間ガイド		
・動物解説	2 回	15 名
f. 世界カワウソの日イベント		
・絵本の読み聞かせ&ランチトーク	2 回	145 名
・動物ガイド「知って守ろう！カワウソ」	2 回	
g. ドリームナイト・アット・ズー		
・動物解説	1 日	652 名

h. オウム・インコの日イベント ・バードピアバックヤードツアー ・インコを描こう（プラバン・クッキー） ・キーパートーク	4 回 2 回 2 回	90 名 64 名 55 名
i. 世界キリンの日ガイド ・動物解説	2 回	35 名
j. モルモット感謝の日ガイド ・動物解説	3 回	123 名
k. 夏休みイベント ・動物たちにひえひえおやつプレゼント ・自由研究企画「うんこから知る動物のからだ」	2 回 4 回	264 名 32 名
l. 世界トラの日ガイド ・動物解説	1 回	60 名
m. 国際オオカミの日ガイド ・動物解説	2 回	134 名
n. 悠久の森 2024 イベント ・パネル展「発見！呉羽丘陵の動物」	1 回	
o. ナイトズー（8 月、9 月） ・動物スポットガイド	4 回	9,309 名
p. 国際レッサーパンダデー ・スペシャルゴックンタイム	3 日	94 名
q. 輝け！いのちの集い 2024 ・パネル展	1 日	
r. ツシマヤマネコと対州馬月間！ ・対馬まるごとクイズラリー ・パネル展「守ろう！対州馬とツシマヤマネコ」 ・ランチタイムトーク ・ツシマヤマネコガイド ・対州馬ガイド	30 日 30 日 2 回 3 回 1 回	70 名 150 名 5 名
s. アムールトラ・ミーのお誕生日会 ・メッセージ募集・展示、メモリアルフォト展示 ・お誕生日会イベント	1 回	100 名
t. 冬季開園イベント ・パネル展「知ってみようへびのこと」 ・特別ガイド「へびってなん蛇（じゃ）！？」	54 日 8 日	234 名

u. バレンタイン企画「ハートがドキドキ♡動物たちの心音を聞いてみよう」	2 日	80 名
v. 第 2 回ファミパ動物選挙 3/15～3/31 投票分 応援演説会	17 日 14 回	3,737 名 397 名
w. 第 40 回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール ・応募 ・表彰式（特選） ・入賞作品展示	67 日 1 日 94 日	222 名 36 名 —
x. 第 49 回動物愛護に関する標語の募集（JAZA 主催） ・ファミリーパーク推薦作品が金賞を受賞	31 日	414 名
⑤ 教育事業（実習・研修）		
a. 小学校・中学校等 校外学習（総合的な学習など） ・古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」 ・園内解説「動物なるほど教室」 ・園内解説「どうぶつ園のじゅうい」 ・古沢小学校飼育体験 ・社会に学ぶ「14 歳の挑戦」 ・県立小矢部園芸高校校外学習	2 回 18 回 6 回 1 日 3 校 1 回	39 名 1,031 名 297 名 5 名 8 名 9 名
b. その他 ・富山県立大学「1 年教養ゼミ」 ・富山国際大学こども育成科 ・園内解説（教育センター不登校支援事業） ・射水市ビオトープ協会研修会 ・富山ユネスコ協会 「ユネスコ教室 動物の体とくらし」 ・JICA 研修会 「持続可能な自然資源管理による生物多様性保全と 地域振興～SATOYAMA イニシアティブの推進」 ・園内解説（日本ホテル再生ネット） ・株式会社文苑堂「キッズ遠足」	2 回 1 回 1 回 2 回 1 回 1 回 1 回 1 回	27 名 85 名 15 名 29 名 26 名 8 名 19 名 11 名
⑥ 協賛・共催・協力事業		

a.研究協力 ・東京農業大学 「カモシカ眼下腺分泌液に関する研究」 ・中部大学 「木曽馬便の採取に関する研究」 「ヨウムの子引き症の細菌学的調査に関する研究」 ・千葉大学 「生魚食動物の腸内細菌叢に関する研究」 ・富山県立大学 「生態調査の元となる動物の鳴き声データの収録」 ・富山大学 「骨内部組織の観察に基づくアマミノクロウサギの生活史の研究」		
b.講演会 ・富山市立柳町小学校 PTA SDG s 出前授業 ・いしかわ動物園講演会「ホクリクサンショウウオを通して生物多様性について考えよう」 講演「富山市ファミリーパークで取り組むホクリクサンショウウオ保全プロジェクトについて」 ・砺波市美術館「日本画☆動物園」関連イベント ギャラリートーク「絵の中の動物の本当のお話」 ・とやま駅南図書館出前講座 「ライチョウの魅力や飼育裏話についての話」 ・県民カレッジ砺波地区センター 「つながる学びわくわく講座」講師 ・とやま竹の祭典 2024 in 呉羽 「竹サミット」パネリスト ・浜松市獣医師会 動物園の獣医の仕事 講師		142 名 20 名 35 名 5 名 25 名 30 名 200 名
⑦ 委嘱		
a.公益社団法人日本動物園水族館協会(JAZA)関係 ・中部ブロック 理事 ・教育普及委員会 教育研修部員 ・生物多様性委員会 ライチョウ計画管理者 ・生物多様性委員会 カワウソ専門技術員 ・生物多様性委員会 カモシカ計画管理者 ・生物多様性委員会 ヨウム個体群管理者 ・生物多様性委員会 アカギツネ維持種担当者 ・生物多様性委員会 ツシマヤマネコ専門技術員 ・将来構想策定のためのブレインストーミング会議委員		

b.環境省 ・ライチョウ保護増殖検討会検討委員 ・ライチョウ野生復帰検討ワーキンググループ委員		
c.その他 ・富山県環境審議会委員(野生生物専門部会) ・レッドデータブックとやま改訂のための検討委員会 ・富山県中央植物園 指定管理者評価委員会評価委員 ・富山県環境影響評価技術審査会委員 ・外来生物対策会議委員(哺乳類担当) ・輝けいのち協議会副会長 ・呉羽丘陵にホタルを呼ぶ会世話役 ・富山県ホタルの会会長 ・悠久の森実行委員会副会長 ・きんたろう倶楽部理事		

④ 在来馬保全活用事業

木曽馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努め、引き続き、在来馬を活用した乗馬やエサやり体験を実施した。

⑤ アニマルウェルフェア

世界的に動物園における動物の福祉向上が課題となっていることから、令和5年度に実施した自己評価に基づき、当園においても動物種や個体ごとに適した飼育環境を整えるべく、継続的な動物福祉の向上に努めた。

(3) ライチョウ保護増殖事業【資料1-⑪、⑫参照】

① 繁殖補助技術開発

令和6年度は、乗鞍岳に生息する野生雄から採精した精液をファミリーパークに輸送し、その精液を用いて飼育雌個体へ人工授精を実施し、得られた卵を用いて人工孵卵・育雛を実施した結果、2羽の雄がふ化・成育した。

ライチョウの野生雄からの採精およびその精液を用いてヒナが誕生したことは国内で初めての成功例であり、飼育下保険集団の遺伝的多様性の維持に大きく貢献した。

② 飼育個体での繁殖

飼育下保険集団の個体数維持のため、当園で雌雄のペアリングを実施し、5羽の雛がふ化したが1羽が死亡し4羽(雄3羽、雌1羽)が育成した。

③ 普及啓発

ライチョウの移動などがあり、ファミリーパークでは雄 10 羽、雌 9 羽の計 19 羽を飼育（令和 7 年 3 月 31 日現在）しており、展示を通して、その生息環境の現状と保全の大切さを伝えるための普及・啓発を行った。

（４）希少動物保全事業

① ヨウム繁殖プロジェクト

ヨウムの飼育下繁殖技術の確立を推進するため、研究者と連携した活動をプロジェクト事業として行った。

ア．野生復帰を想定した繁殖技術の確立について

令和 6 年度のヨウムの繁殖は、展示室内で行動観察の結果から確認された 2 つのペアで取り組んだ。その結果、2 羽の雌で合計 12 個の産卵が確認されたが、ふ化には至らなかった。録画記録による分析の結果、交尾は確認されなかった。

その他にも次の取り組みを行った。

- ・群れまたはペア形成の技術開発
- ・糞中の繁殖ホルモン及びストレスホルモン測定の分析（連携事業）
- ・飼育下繁殖技術推進を目的としたワーキンググループ会議を 2 回開催

イ．普及啓発活動

親子、こどもが対象のイベントと、大人が対象の講演会を開催した。

- ・オウム・インコの日イベント

日程 令和 6 年 6 月 15 日（土）、16 日（日）

内容	回数	参加者数
・バードピアバックヤードツアー	4 回	43 名
・インコを描こう（プラバン・クッキー）	2 回	64 名
・キーパートーク	2 回	55 名

- ・ヨウム講演会

日程 令和 7 年 1 月 26 日（日）13：00～15：00

	講師	演題	参加者数
講演 1	牛田一成 氏（中部大学 ヨウム繁殖プロジェクト共同研究者）	ウガンダ共和国におけるヨウムの保全の仕組みづくり	45 名
講演 2	中山文仁 氏（一般財団法人自然環境研究センター）	ウガンダ共和国におけるヨウムの保全活動の取り組み	
講演 3	青山三菜（ファミリーパーク職員）	ヨウムの飼育下繁殖の取り組み シンガポール研修の成果	

ウ. 人材育成

令和6年10月20日～25日の日程で、当園の職員を先進地であるシンガポールのバードパラダイスに派遣し、ヨウムをはじめとしたインコ類の飼育繁殖技術に関して学んだ。さらに、令和6年11月には中部大学の依頼により、JICA 草の根技術協力事業の一環として、ウガンダ野生生物保全教育センター（UWEC）の職員の研修を受け入れ、飼育繁殖技術や普及啓発に関する情報交換等を行った。

② ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業

ホクリクサンショウウオの保全活動を強化するため、生息域内保全、生息域外保全で連携した保全活動をプロジェクト事業として行った。

ア. 生息域内保全

園内の生息地の調査と、将来、繁殖池となる可能性のある場所を選定し、試行的に池を造成しその後の水量などの経過を調査した。

イ. 生息域外保全

園内の野生個体を雄3匹導入し、飼育技術の確立に取り組んだ。

ウ. 普及啓発活動

ガイドや生体展示を通して、普及啓発活動をおこなった。

- ・ガイド「ホクリクサンショウウオを守るために」

日程 令和7年3月20日（木・祝）

内容	参加者数
・保全活動の紹介 ・生息地の観察	25名

エ. 人材育成

新潟市水族館マリニピア日本海で開催された「第34回日本動物園水族館両生爬虫類会議」に職員を派遣し、ホクリクサンショウウオの飼育繁殖に参考となる情報収集を行った。

オ. 基金の周知

基金の目的を広く、市民・県民・国民に周知し、基金への寄付を募っていくためのパンフレットを作成し、配布した。

オリジナル商品として希少動物をデザインしたトートバッグの開発・販売を行い、売り上げの一部を基金に寄付することで周知を図った。

(5) 地域事業

①くれば悠久の森事業

「悠久の森実行委員会」(47 団体)に事務局として関わり、地域施設や住民と連携して事業に取り組んだ。

また、これまでのホクリクサンショウウオの保全活動などが評価され、環境省の「令和 6 年度 大気・水・土壌環境保全活動功労者表彰」を受けた。

事業名		実施日数	参加者数
悠久の森実行委員会（役員会含む）		2 日	98 名
悠久の森コーディネーター会		4 日	45 名
悠久の森 2024「森であそぼう」		1 日	1,929 名
くれば悠久の森連携事業 （くれば里山ネット）	呉羽丘陵散策	2 日	39 名
	里山フィールドワーク	1 日	12 名
ホクリクサンショウウオ 保全プロジェクト事業	出前授業	9 日	265 名
	生息地調査	2 日	18 名
	生息地整備	1 日	4 名
	サンショウウオの里親	13 日	346 名
令和 6 年度大気・水・土壌環境保全活動功労者表彰		1 日	2 名
合 計			2,758 名

② 輝け！いのちの集い事業

富山市ファミリーパークと「輝けいのち協議会」が主催の「輝け！いのちの集い」といのちに関する講演会を実施した。

事業名	実施日数	参加者数
輝けいのち協議会	4 日	47 名
輝け！いのちの集い 2024「助け合おう つないでいこう いのちのバトン」	1 日	2,971 名
いのちの講話「いのちの誕生を考えよう」	1 日	34 名
合 計		3,052 名

③ 地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した事業に積極的に取り組んだ。

連携団体名	事業名	実施日数	参加者数
呉羽丘陵月いち ウオーク実行委員会	呉羽丘陵月いちウオーク	11 日	2,296 名
	下見、整備	12 日	138 名
	会議	10 日	72 名
富山市立古沢保育所	ファミリーパーク里山自然体験	2 日	47 名
とやま森の四季彩 フォト大賞実行 委員会	とやま森の四季彩 フォトコンテスト親子写真教室	1 日	24 名

NPO 法人自然環境 ネットワーク・射水市 ビオトープ協会	研修会「富山市ファミリー パークの取り組み」	1 日	9 名
富山市観光協会	観光サポーター研修 「富山市ファミリーパーク ～郷土の動物・里山の自然を 見せて伝える動物園～」	1 日	18 名
呉羽丘陵ウオーク 実行委員会	呉羽丘陵ウオーク 2024	1 日	737 名
富山市	とほ活「ファミリーパーク 40 周年記念ラリー」	78 日	155 名
富山市児童クラブ 連絡協議会	富山こども大会	1 日	480 名
合 計			3,976 名

④ ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動について、その活動の支援を行った。【別添資料 3 参照】

団 体 名	活 動 名	実施日数	参加者数
市民いきものメイト	総会・運営委員会等	11 日	72 名
	里山整備活動	4 日	31 名
	里山教室等イベント従事	10 日	42 名
	里山教室	5 日	187 名
呉羽丘陵にホテル を呼ぶ会	会議	1 日	11 名
	会員によるホテル勉強会	1 日	148 名
	ホテルと夜とファミリーパーク 解説	2 日	17 名
	富山市立古沢小学校 3.4 年生による カワニナ放流	1 日	21 名
	生息地整備	1 日	3 名
富山県ホテルの会	総会	1 日	25 名
	記念講演「ヒメホテルについて」	1 日	27 名
	執行部会・役員会等	3 日	18 名
	研修会	1 日	8 名
	ヒメホテル調査	10 日	15 名
きんたろう倶楽部	園内竹整備	6 日	30 名
	竹林整備準備・片付け	10 日	84 名
	きんたろうの森・わくわくの森 整備	10 日	106 名

きんたろう倶楽部	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1 日	131 名
	イベント準備、従事	4 日	25 名
	富山県立富山北部高等学校 探究	2 日	85 名
	総会・記念講演会	1 日	28 名
古沢地区 ボランティア	植樹地草刈	2 日	10 名
富山ライオンズ クラブ 1R2Z 合同 アクティビティ	竹林整備	1 日	53 名
情報産業労働組合 連合会ボランティア 活動	幼竹伐採作業	1 日	61 名
連合富山富山地域 協議会ボランティア 活動	花の苗と球根植え付けとゴミ拾い	2 日	46 名
シルバー人材セン ターボランティア 活動	駐車場清掃	1 日	30 名
古沢小学校、母親 クラブ合同	春の開園前美化ボランティア	1 日	62 名
合 計			1,376 名

⑤ 活性化事業

ゴールデンウィークや冬休みなど、時季にあわせた催物を実施した。

事業名	概要	実施日数	参加者数
ファミリーパーク 動物友の会	187 回例会、188 回例会、189 回例 会、190 回例会、191 回例会	5 日	196 名
開園記念日イベント	開園 40 周年記念缶バッジ プレゼント	1 日	1,000 名
GW イベント	クイズラリー「ファミリーパークの 40 年」	10 日	5,751 名
	里山スポットガイド	3 日	220 名
	里ノ助とあそぼう (「お誕生日会」含む)	7 日	500 名
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー	障がいのある子と家族のための 開園	1 日	652 名
ナイトズー	21 時まで延長開園	4 日	11,689 名
	カピバラとかけっこ	1 日	450 名
	里山ガイド「セミの羽化観察会」	2 日	900 名

夏イベント	夏休み企画 「里ノ助からのクイズに挑戦！」	44 日	6,333 名
秋イベント	里ノ助のプチ運動会	2 日	572 名
	ハロウィンフォトスポット	14 日	—
	里ノ助のハロウィン散歩	4 日	330 名
	富山子ども大会 里ノ助さんぽ	1 日	200 名
冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	82 日	468 名
	里ノ助のクリスマス会	1 日	90 名
	クリスマスフォトスポット	25 日	—
	プラバンでキーホルダーづくり	2 日	113 名
	里ノ助のチョコチョコじゃんけん	2 日	110 名
春の開園イベント	里ノ助のお出迎え	1 日	70 名
里ノ助出演	くれは華街道「里ノ助とあそぼう」 (主催：富山北商工会呉羽支部)		中止
	ベビーフェスティバル出演 (中央保健福祉センター)	1 日	37 名
その他	もっと！ZOOっと！ワクワク FES2024 (富山村田製作所福利厚生 イベント)	4 日	1,368 名
合 計			31,049 名

⑥ 広報活動

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内などの情報発信に努めた。

イベントに関するリーフレットは、市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布したほか、新たに高齢者向けの広報媒体に広告を掲載するなどし、ファミリーパークの魅力や事業内容をより多くの方に周知することに努めた。また、毎週ラジオ出演するなど雑誌や新聞、テレビ、SNS 等の媒体での広報に努めた。

インターネットを用いた広報としては、公式ホームページ、フェイスブック、X（ツイッター）、ユーチューブ、インスタグラム、ラインの運用を行った。

ファミリーパークのホームページのアクセス数は 946,652 件となった。また、フェイスブックとインスタグラムではそれぞれ 358,672 回、6,589,901 回の閲覧があり、ユーチューブでは 85,646 回の再生回数があった。

このほか、富山市広報課を通じて 81 件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

主な報道リリース

期 日	タ イ ト ル
4 月 12 日	のとじま水族館から預かっているフンボルトペンギンの繁殖について
4 月 15 日	飼育の日イベントについて
4 月 19 日	パラワンコクジャクのふ化について
4 月 24 日	ゴールデンウィークイベントについて
4 月 24 日	40 周年記念オリジナルデザイン商品の販売および配布について
5 月 8 日	愛鳥週間イベントについて
5 月 14 日	アムールトラの搬入について
6 月 9 日	「ホテルと夜とファミリーパーク 2024」について
6 月 28 日	二ホンライチョウのふ化について
7 月 3 日	のとじま水族館から預かっているフンボルトペンギンの返還について
7 月 15 日	夏イベントについて
8 月 21 日	「悠久の森 2024 森であそぼう」について
9 月 15 日	「輝け！いのちの集い 2024」について
10 月 2 日	「ツシマヤマネコと対馬月間」について
10 月 16 日	アムールトラ ミーのお誕生日会について
11 月 12 日	ウガンダ野生生物保護教育センター職員の研修について
11 月 20 日	「いのちの講話 ～いのちの誕生を考えよう～」について
11 月 27 日	冬期開園と 12 月からのイベントについて
12 月 25 日	アムールトラの死亡について
2 月 5 日	臨時休園のお知らせ
2 月 19 日	富山市ファミリーパーク開園 40 周年記念シンポジウムの開催について
3 月 11 日	アムールトラの死亡について

(6) 里山事業

① 里山保全管理・整備研究事業

ホテルのおやどや湿地帯の管理を行ない、ホテルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、市民いきものメイトと悠久の森実行委員会と共に絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の整備・維持に努めた。

自然散策路の整備を行ったほか、団体やボランティアとともに、二次林に侵出したモウソウチクやコナラ植樹地林内の藪の除伐を行い、自然植生の保護と復元に努めた。

② 里山活用事業

園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころを「自然だより」で園内掲示し情報発信したほか、里山展示「感じて楽しむ身近な自然」を季節にあわせて更新し、見る・触るなど五感で自然の楽しさを体験していただいた。

隔月で里山ガイドを実施し、セミや木の実などのテーマを決めて自然につい

て深く楽しく知る機会をつくった。

また、「呉羽丘陵月いちウオーク」の実施を通して、呉羽丘陵フットパスの利用を推進するとともに、呉羽丘陵の活動拠点としての機能強化に努めた。

事業名	実施日数	参加者数
① ムササビ村 観察モニター	常設展示	—
② 野鳥観察舎 情報展示	常設展示	—
③ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
④ 「ホテルと夜とファミリーパーク 2024」	2 日	1,414 名
⑤ 里山ガイド	12 日	161 名
⑥ 里山スポットガイド	3 日	220 名
⑦ 里山クラフト「木の実のマラカスをつくろう」	2 日	79 名
⑧ 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	2 日	47 名
⑨ 呉羽丘陵月いちウオーク	11 日	2,296 名
合 計		4,217 名

5 収益事業等

開園 40 周年をテーマにオリジナル商品を立案し、様々なイベントに併せて販売促進に努めた。また、オリジナル商品を企画・販売し、売り上げの一部は希少動物保全基金やライチョウ基金に寄付している。

(1) 売店・食堂等

事業名	実施日数	販売数
① 40 周年オリジナル商品	フェアトレードコーヒー	140 個
	エビせんべい	432 個
	キャラメルパッチ缶	258 個
② オリジナル「トートバック」の販売	—	124 個
③ 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	27 日	3,500 個
④ ナイトズー「牛乳パックランタン作り」	4 日	256 個

(2) ホースライド事業

事業名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曽馬）	175 日	3,218 名
障がいのある方のための乗馬会	3 日	14 名
ナイト乗馬（8、9 月）	3 日	107 名
② エサやり体験	343 日	34,334 個

売店・食堂等売上状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（単位：円）

施 設 名			売 上 高	前年度実績	床面積・卓数・脚数
販売収入	売店	きりん食堂	6,139,241	5,077,090	109.87 m ²
		かふえムー	9,965,178	8,415,838	55.00 m ²
		2 店計	16,104,419	13,492,928	164.87 m ²
	食堂	きりん食堂	4,235,730	3,580,620	309.13 m ² 11 卓 26 脚
		かふえムー	9,619,160	8,925,000	250.00 m ² 17 卓 36 脚
		2 店計	13,854,890	12,505,620	559.13 m ² 27 卓 62 脚
	悠々ワゴン		875,000	561,250	
	出店等		6,174,820	5,367,117	
	ホースライド		6,121,700	6,849,400	ゆらゆら乗馬、人参販売
その他の収入	ベビーカー使用料		381,600	395,100	60 台
	バーベキュー使用料		2,034,200	1,977,300	ガス:8 人掛×1 卓・6 人掛×9 卓 炭:8 人掛×5 卓・ 4 人掛×5 卓 計 122 脚
	自動販売機手数料		2,363,486	2,265,242	
	その他		1,536,501	1,230,839	移動販売手数料、バッテリーカー等
事 業 収 入			49,446,616	44,644,796	
雑 収 入			4,000	488,500	
合 計			49,450,616	45,133,296	

6 理事会等議決事項について

（１）理事会 令和6年4月1日開催（決議の省略）

- ・令和6年度一般会計補正予算について

（２）理事会 令和6年5月20日開催

- ・令和5年度希少動物保全基金事業報告について
- ・令和5年度希少動物保全基金収支決算について
- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度収支決算について

- ・ 定時評議員会の招集について
- ・ 役員の任期満了に伴う理事及び監事の推薦について
- ・ 評議員の任期満了に伴う評議員の推薦について

(3) 評議員会 令和6年6月4日開催

- ・ 令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに付属明細書及び財産目録の承認の件について
- ・ 評議員の選任の件について
- ・ 理事及び監事の選任の件について

(4) 理事会 令和6年2月13日開催（決議の省略）

- ・ 一般会計補正予算について

(5) 理事会 令和6年3月25日開催

- ・ 令和7年度事業計画について
- ・ 令和7年度収支予算について

7 基本財産等の管理について

- (1) 基本財産 30,000,000 円
- ・ 三井住友信託銀行 10,000,000 円
預入期間 令和4年4月21日～令和9年4月21日
 - ・ なのはな農業協同組合 10,000,000 円
預入期間 令和5年4月21日～令和10年4月21日
 - ・ みずほ信託銀行 10,000,000 円
預入期間 令和5年4月27日～令和10年4月27日

(2) 定期預金及び投資有価証券 29,376,600 円

定期預金

- ・ 富山第一銀行 10,000,000 円
預入期間 令和6年10月24日～令和7年10月24日
- ・ 富山信用金庫 10,000,000 円
預入期間 令和6年10月28日～令和7年10月28日
- ・ 北陸銀行 9,376,600 円
預入期間 令和7年3月28日～令和8年3月28日

投資有価証券

- ・ 大阪府公募公債 20,000,000 円
保有期間 平成30年1月30日～令和10年1月28日